

平成 2 4 年度日光市指定管理施設の評価結果

【評価レベル】

評価の目安	評価ランク	内 容	
↑ ↓	良い	A	特に優れていると認められる。
		B	優れていると認められる。
	普通	C	適正であると認められる。
		D	努力が必要であると認められる。
	適切でない	E	かなりの努力が必要であると認められる。

※評価ランクについては、利用者満足度や経費低減、収入増加などの項目をもとに、決定しております。

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H24)
					A	B	C	D	E		
今 市 地 域	1	J R 今市駅市営自転車駐車場	株式会社 近代ビル管理社	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			誰もが利用しやすく、利便性と安全性を両立した快適な環境づくりを維持しているという点で評価は「適正」であるといえる。 また、調査結果の満足度がやや低かった安全面についても、指導管理体制を強化し、より一層安全性も確保されているため評価できる。 【改善に向けた方策】 駅隣接の自転車駐車場等という性質上、設置目的等を達成するだけでは収入の増加は見込めず、必要最低限の運営コストで、その目的を如何に達成するかという点が課題であり、収支の改善を考えると利用率アップのための方策が必要である。	市民生活部 生活安全課
	2	温泉保養センター「かたくりの湯」	財団法人 日光市公共施設振興公社	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			平成23年度よりも入場者が増加している。様々な自主事業の実施、ホームページや各旅行雑誌等への広告、各種割引サービスが効果的に図られ、指定管理者の努力が利用者の増加につながったと評価する。 【改善に向けた方策】 前年の課題であった利用者の満足度、接遇の満足度が上昇し目標を上回る等アンケートでは高評価を得ているが、アンケートの回答者数が利用者数に対して少ないことが課題でもある。今後は回答者数を増やす努力をし、多くの利用者の声を聴くことでより良い施設運営を行ってほしい。	観光部 観光交流課
	3	市民活動支援センター	特定非営利活動法人 おおきな木	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			会議室の利用、一般来場者が減少しているが、広報、情報提供の仕方に工夫（FACEBOOK、Titterの利活用、館内の掲示・レイアウトを随時更新）をするなど、センターの認知度は年々上昇し、スタッフの資質の向上、スタッフ間での情報の共有等が研修、ミーティングを通じて図られており、おおむね適正に管理運営されていると判断できる。 【改善に向けた方策】 ボランティア・人材育成の分野がまだ十分ではないため、引き続き自主事業、講座の開設等積極的に進めていただきたい。 平成 2 4 年度は、コミュニケーションセミナーを有料で開催していただいた。セミナーは好評であったことから、今後も、自主財源の確保につながる事業等を検討いただきたい。	企画部 地域振興課

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H24)
					A	B	C	D	E		
今 市 地 域	4	生きがいセンター	公益社団法人 日光市シルバー人材センター	21. 4. 1～ 26. 3. 31			○			日光市の高齢化率は年々増加しており、生きがいセンターの役割がますます高まると思われる。 【改善に向けた方策】 施設の適切な運営とニーズの把握に努めるとともに、地域住民に事業の周知・普及をはかり、高齢者の福祉向上に努めてもらいたい。	健康福祉部 高齢福祉課
	5	今市宿市縁ひろば	今市観光協会	21. 4. 1～ 26. 3. 31			○			当該施設は、利用者が郷土の歴史・文化・産業にふれることを目的としており、日光市にちなんだ多種多様な事業を実施することが望まれる。また、立地も日光方面へ向かう道路に面しており、今市ＩＣ出口からも近く、さらに平成２３年度から設置された電気自動車の急速充電器の認知度も宣伝効果により上昇傾向にあると思われる。 【改善に向けた方策】 今後、観光情報発信の拠点として、ますます重要な役割を担うことになる。このことから、職員のスキルアップに努め、サービスの充実を図り、観光振興に寄与してほしい。その他、全般的な事務処理にあたっては正確性とスピードの向上を強く望みたい。	観光部 観光交流課
	6	農村環境改善センター 大室ダム（ダム機能）	日光市土地改良区	21. 4. 1～ 26. 3. 31			○			【改善に向けた方策】 利用者満足度調査等を行なうことで地域住民の要望を把握するとともに、今後も利用者の平等利用・安全性確保に努めていただきたい。 また、大室ダムについては、農業用ため池として重要な役割を担う施設であるため、更なる管理体制強化に努めていただきたい。	産業環境部 農林課
	7	大室ダム（周辺公園）	日光市土地改良区	23. 4. 1～ 26. 3. 31			○			概ね事業計画のとおり遂行されている。 【改善に向けた方策】 トイレの管理について、業務の改善を検討をしていただきたい。	産業環境部 農林課
	8	小百川桜公園	公益社団法人 日光市シルバー人材センター	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			施設の維持管理は概ね適正に管理されていた。 【改善に向けた方策】 今後は利用者の意見を積極的に聴取し、利用者が安心安全で快適な利用が行える施設運営を図ってほしい。また利用者を増やすためのイベント等の実施を検討願いたい。その他、全般的に事務処理が遅く正確性にも欠ける。指定管理者として業務を行う以上、現場の業務だけではなく、事務処理能力の向上も図ってほしい。	観光部 観光交流課

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H24)
					A	B	C	D	E		
今 市 地 域	9	都市公園 ①今市中央公園 ②平ヶ崎公園 ③ひばり公園 ④あきの空公園 ⑤杉の木公園 ⑥春日町公園 ⑦原町公園 ⑧大桑杉並木観賞公園 ⑨轟工業団地第一公園 ⑩轟工業団地第二公園 ⑪轟工業団地緑地 ⑫大谷川グリーンパーク ⑬杉並木公園 ⑭おおるり公園 ⑮かたくりの湯公園 ⑯森友ポケットパーク ⑰住吉町ポケットパーク ⑱市役所入り口ポケットパーク ⑲あかほり公園 ⑳土橋公園 ㉑地藏下公園	財団法人 日光市公共施設振興公社	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			要望・苦情への対応が迅速である。看板等で利用の際の注意喚起が図られ、利用者間のトラブルを未然に防げるよう努めている。	建設部 維持管理課
	10	運動公園 ①今市運動公園 ②丸山公園 ③落合運動公園 ④豊岡運動公園 ⑤塩野室運動公園	財団法人 日光市公共施設振興公社	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			有料施設利用件数の増加により、施設の設置目的であるスポーツの振興と地域住民の健康保持及び増進に貢献している。 【改善に向けた方策】 今後も、利用件数が増加するよう努めていただきたい。また、利用件数の増加することで、経費の増加、備品や器具の消耗、トラブルの発生等が予想されるので経費削減に努めつつ、安全対策に心がけ安全で安心な公園の管理運営に努めていただきたい。	教育委員会 スポーツ振興課
	11	報徳今市振興会館 (平成24年度で指定管理終了のため、評価は行わない。)	特定非営利活動法人 おおきな木	22. 4. 1～ 27. 3. 31							教育委員会 文化財課
	12	杉並木公園ギャラリー	財団法人 日光市公共施設振興公社	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			利用件数、稼働率とも高水準であり、また、利用者のニーズの把握や要望に対する対応を迅速に行いつつ、市との協議も頻繁に実施しており、そうした点が高い満足度につながっていると認められ、施設の設置目的の達成に関する取り組みは充分になされている。 【改善に向けた方策】 今後は、来場者数（入場・見学者数）増加のため、施設はもとより、催事内容の周知、広報力を強化し、新規利用者の増加につながる取り組みを行われたい。	教育委員会 生涯学習課
	13	今市文化会館	株式会社 ケイミックス	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			施設設備の管理面では、各施設が年々老朽化する中計画通り点検を実施し、ホールの運営に支障を来たさぬよう配慮されている。経費削減の取り組みもおこなわれており、予算額以上の修繕も実施され市への貢献も見られ、また貸館業務における利用者アンケートの結果では概ね良好な結果が出ている。 【改善に向けた方策】 指定事業における収入の極端な落ち込みや入場者数が減少傾向にあり、地域性にあった公演の企画力が求められる。民間の指定管理事業者として持てるノウハウを最大限活かし、日光市の文化振興を中長期的に見据え、施設の利用向上に向けた新たな取り組みや創造的な事業など、質の高い運営を行っていただきたい。	教育委員会 中央公民館

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H24)
					A	B	C	D	E		
今 市 地 域	14	今市図書館	株式会社 図書館流通センター・株式会社 近代ビル管理社共同事業体	24. 4. 1～ 29. 3. 31			○			指定管理者制度導入後、開館日（時間）の増加、集客事業の増加、司書率の向上等を実現し、その結果、利用者も増加した。指定管理者の努力を評価する。 【改善に向けた方策】 図書館事業は、3館それぞれの特色を活かした事業と、共通の事業のバランスが大切である。この点を考慮しながら今後の事業を展開していただきたい。 図書館資料の選定について、人気の図書やCDに偏ることがないよう、図書館資料としてよりよいものであるかを熟考したうえで選定していただきたい。さらに、図書館が所蔵する資料全体を分析し、必要ならば新刊（新譜）でなくても購入する等、図書館本来の目的に沿って蔵書管理等の業務をすすめていただきたい。 日光市は、二社一寺をはじめ、たくさんの観光地を抱えており、観光客が図書館に質問を寄せることも多い。今後、図書館職員が日光市の歴史や文化のエキスパートとなり、あらゆる質問に対応できるような体制を整えていただきたい。 今後も、利用者のニーズや地域の状況を把握し、信頼される図書館を目指してほしい。	教育委員会 生涯学習課
	1	奥日光診療所	公益社団法人 地域医療振興協会	24. 4. 1～ 29. 3. 31		○				日光市奥日光診療所条例に規定されている診療所の責務である、「奥日光地区における保健施設の拠点として、公衆衛生の向上及び健康増進に寄与すること」については、規定の診療日数を確保する等、その機能を十分果たしている。 【改善に向けた方策】 今後は、奥日光地区という観光エリアに立地条件にあった、修学旅行生や観光客等への診療体制の充実について努力してほしい。	健康福祉部 健康課
	2	温泉保養センター ①日光温泉 ②やしおの湯	財団法人 日光市公共施設振興公社	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			やしおの湯では、近隣の工場が大幅な人員削減をした影響で近隣の人口が減少したこともあり、昨年をやや下回る集客数であった。日光温泉は、源泉ポンプが修繕され休館することなく営業したことにより、利用者、収入とも例年並みに回復した。 【改善に向けた方策】 新たな自主事業の実施や接遇の向上等、新規利用者及びリピーターの増加を図る取組を検討願いたい。	日光総合支所 観光課
	3	日光総合会館	財団法人 日光市公共施設振興公社	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			最低限の人員で経費節減かつサービス向上に努めつつ、適正な管理運営を行うことができた。また、多種多様な自主事業を開催することで、市民や観光客など幅広い年齢層が楽しめる場を提供し、施設の設置目的を達成することができた。 【改善に向けた方策】 さらに利用者及び収入増加を図るべく、創意工夫並びに広報活動に尽力願いたい。	日光総合支所 観光課
	4	市営駐車場 ①西参道第1駐車場 ②西参道第2駐車場 ③西参道第3駐車場 ④日光駅前駐車場 ⑤山内駐車場 ⑥上鉢石駐車場	財団法人 日光市公共施設振興公社	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			目標数値に対して実績が及びはしなかったが、前年よりは利用者も利用料金も増加している。これは、常に利用者へのサービス提供を念頭に置き、利便性と安全性を考慮した管理運営を実施した結果である。苦情・要望に対しても、臨機応変かつ迅速な対応により、トラブルも少ない。 【改善に向けた方策】 さらに広報活動などを徹底し、利用者増加を図られたい。	日光総合支所 観光課
日 光 地 域	5	神橋駐車場	財団法人 小杉放菴記念日光美術館	21. 4. 1～ 31. 3. 31			○			利用者の利便性を考慮したサービス提供で利用促進を図ったり、閑散期には駐車場を無料開放して経費節減並びに地域活性化に貢献するなど、柔軟な管理運営を行うことができた。したがって、苦情やトラブルもない。 【改善に向けた方策】 今後は、震災前の利用実績を目標に、さらに広報活動などを行い、利用者増加に向けて努力願いたい。	日光総合支所 観光課

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H24)
					A	B	C	D	E		
日光地域	6	小杉放菴記念日光美術館	財団法人 小杉放菴記念日光美術館	21. 4. 1～ 31. 3. 31			○			美術館では、いろいろな事業を展開しており、これらは利用者に概ね好評である。 【改善に向けた方策】 今後も、専門性や芸術性を堅持しつつ、市民のニーズに合った企画を期待している。また、今年度は特に経費削減が図られたが、今後も継続して経費の削減に当たられたい。さらに、市所有の美術品については、そのほとんどが美術館内の収蔵庫に収蔵されているので、今後も、学芸員の指導のもと、適切な管理に当たられたい。	教育委員会 生涯学習課
	7	日光福祉保健センター	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			日光地域の高齢化率は35.3%と高く、高齢者に対する福祉保健センターの役割が、高まると思われる。 【改善に向けた方策】 施設の適切な運営とニーズの把握に努めるとともに、地域住民に事業の周知・普及をはかり、高齢者の福祉の向上に努めてもらいたい。	健康福祉部 高齢福祉課
	8	小来川デイサービスセンター	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会	20. 11. 1～ 25. 3. 31			○			（介護予防）通所介護の拠点として平成20年11月の開所から5年が経過し、利用者及び家族の希望を踏まえた、きめ細かいサービスを提供していることから、小来川地区での認知度が向上し、利用者が増加していることは評価できる。 【改善に向けた方策】 平成24年度より開所日数を5日に増加し、利用者は増加したが年平均の1日当り利用者数は減少していることから、送迎可能な今市区域の関係機関との連携を積極的に行い、高齢者家族の介護相談、見学会の実施等を行い利用者拡充に努める必要がある。また、指定管理者の高齢者福祉事業のネットワーク、知識等を活用する取組が求められる。 今後は、利用者家族のニーズを把握し、サービスの改善、向上に役立てていく必要がある。また、自分たちの提供しているサービスを定期的にチェックするなど、節目節目で振り返りを行い、さらにワンランクアップしたサービス提供を行っていく必要がある。	健康福祉部 介護保険課
	9	小倉山森林公園	日光彫り体験教室運営協議会	24. 4. 1～ 29. 3. 31			○			日光彫り体験教室については、昨年度より若干の体験者数の減少がみられるが、安定した体験者数を確保できている。 また、事務処理を効率化する一方、定期的な公園内巡回により危険箇所等の点検を実施するとともに、公園内除草等の管理のための職員を確保することにより期間を通じて除草を実施できたことから、安全で快適な公園管理をすることができた。 【改善に向けた方策】 閑散期である冬期の誘客については、前年度より体験者数、体験団体ともに減少しており、今後の大きな課題として残っている。 遊具等の利用者の減少については、施設の老朽化もあり、市としても遊具等施設のあり方について検討が必要であるが、指定管理者のPR不足も一因として考えられる。	日光総合支所 産業建設課
	10	交流促進センター	日光温泉旅館協同組合	24. 4. 1～ 29. 3. 31			○			インターネットを活用した営業・広報活動や利用者への情報提供に取り組み、前年よりも集客数を増加させたことは評価できる。 また、利用者のための車椅子の導入や従業員研修を実施する等サービス向上への意識も高い。 【改善に向けた方策】 今後は自主事業を実施する等、更なる集客増を図るような取組も検討願いたい。	日光総合支所 観光課

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H24)
					A	B	C	D	E		
日光地域	11	郷土センター	社団法人 日光観光協会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			日光地域の観光の拠点として、年中無休で観光客へ情報提供を行っている。また、ゴールデンウィーク・紅葉等の時期には湯茶の接待を行い、観光客との交流を図った。 【改善に向けた方策】 今後は、アンケート調査等で利用者のニーズを反映させるとともに、リアルタイムの情報提供を行えるよう工夫して欲しい。	日光総合支所 観光課
	12	中宮祠介護サービスセンター	社会福祉法人 千成会	23. 3. 1～ 26. 3. 31			○			中宮祠地区の（介護予防）通所介護及び（介護予防）訪問介護の拠点として平成23年3月の開所から2年3箇月が経過した。介護保険法の適正な人員配置や業務運営が行われており、苦情や事故もないことから適正な管理運営ができています。利用者は年々増加し、平成24年度は支援事業所での営業活動、民生委員との連携、地元イベントへ参加しPRするなど、周知を図ったことが実を結び、特に訪問介護において利用拡大につながったことは評価できる。 【改善に向けた方策】 今後は、さらなる利用拡大に向け、日光地域の事業所、地域包括支援センター、ケアマネージャー、地元民生委員等への周知PRを積極的に行い、連携を図ることで、中宮祠介護サービスセンターの認知度を高める必要がある。また、地元イベントへの参加、幼稚園・小学校での交流を行い、認知度を高める必要がある。	健康福祉部 介護保険課
	13	日光図書館 (今市図書館に集約)	株式会社 図書館流通センター・株式会社 近代ビル管理社共同事業体	24. 4. 1～ 29. 3. 31							教育委員会 生涯学習課
	14	日光運動公園 日光体育館 細尾ドームリンク	財団法人 日光市公共施設振興公社	24. 4. 1～ 29. 3. 31			○			指定管理初年度であったが、目標値はほぼ達成できており、指定管理者として適正であると考える。	日光足尾教育行政事務所
藤原地域	1	三依診療所	学校法人 獨協学園 獨協医科大学日光医療センター	24. 4. 1～ 29. 3. 31		○				日光市三依診療所条例に規定されている診療所の責務である、「三依地区における保健施設の拠点として、公衆衛生の向上及び健康増進に寄与すること」については、地元との信頼関係も築かれ、その機能を十分果たしている。 【改善に向けた方策】 今後は、医師不足という実情は理解するが、規定の診療日数を確保してほしい。	健康福祉部 健康課
	2	藤原福祉センター	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会	21. 4. 1～ 26. 3. 31			○			藤原地域の高齢化率は33.9%と高く、高齢者に対する藤原福祉センターの役割が、高まると思われる。 【改善に向けた方策】 施設の適切な運営とニーズの把握に努めるとともに、地域住民に事業の周知・普及をはかり、高齢者の福祉の向上に努めてもらいたい。また、民間参入が難しい山間地へのサービスを、引き続き積極的に行ってもらいたい。	健康福祉部 高齢福祉課
	3	ふるさと体験村（みよりふるさと体験村センター・キャンプ場）	中三依自治会	21. 4. 1～ 26. 3. 31			○			施設には入浴施設がないため、中三依温泉センターとの連携し地域住民と接することも多い。また、登山などの活動拠点として、ファミリーキャンプなどロコミなど広く周知されてきている。リピーターが新たな利用者と呼ぶようになった。 【改善に向けた方策】 中三依温泉センターとの連携をさらに強化し、利用者の増加に努めてほしい。	藤原総合支所 観光課

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H24)
					A	B	C	D	E		
藤 原 地 域	4	川治温泉薬師の湯	一般社団法人 川治薬師の湯管理協会	24. 4. 1～ 29. 3. 31			○			地元住民と観光客とのふれあいの場として、地域振興に寄与している。PR活動も熱心であり、収入増につなげている。 【改善に向けた方策】 収支が赤字となっているため、引き続き利用者の増加を図ること。	藤原総合支所 観光課
	5	鬼怒川・川治温泉観光情報センター	特定非営利活動法人 鬼怒川・川治温泉観光協会	21. 4. 1～ 26. 3. 31			○			鬼怒川・川治温泉の玄関という意識を持ち、来訪者に丁寧な対応をしている。観光PRもこと細かに最新情報を発信している。 【改善に向けた方策】 収入のない施設であり、経営努力は認めるものの、赤字となっているため、引き続き経費削減等、支出の圧縮を図ること。	藤原総合支所 観光課
	6	上三依水生植物園	有限会社 山加園	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			施設の設置目的などを理解し、計画的な運営をしている。情報を細かに発信し、誘客に努めた。 【改善に向けた方策】 利用者の増加に努めること。	藤原総合支所 観光課
	7	藤原図書館 (今市図書館に集約)	株式会社 図書館流通センター・株式会社 近代ビル管理社共同事業体	24. 4. 1～ 29. 3. 31							教育委員会 生涯学習課
足 尾 地 域	1	国民宿舍かじか荘 (平成24年度中に指定管理者指定の取消しがあったため、評価は行わない。)	有限会社 E & K S 共和国	22. 4. 1～ 25. 1. 31							足尾総合支所 観光課
	2	足尾保健・高齢者生活福祉センター	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会	22. 4. 1～ 27. 3. 31		○				足尾地域の高齢化率は48.6％と市内でも高く、高齢者に対する足尾保健・高齢者生活福祉センターの役割が、高まると思われる。 【改善に向けた方策】 施設の適切な運営とニーズの把握に努めるとともに、地域住民に事業の周知・普及をはかり、高齢者の福祉の向上に努めてもらいたい。	健康福祉部 高齢福祉課
	3	銀山平公園キャンプ場 (平成24年度中に指定管理者指定の取消しがあったため、評価は行わない。)	有限会社 E & K S 共和国	22. 4. 1～ 25. 1. 31							足尾総合支所 観光課
	4	足尾生産展示直売所 (平成24年度中に指定管理者指定の取消しがあったため、評価は行わない。)	有限会社 E & K S 共和国	22. 4. 1～ 25. 1. 31							足尾総合支所 産業建設課
	5	庚申山荘 (平成24年度中に指定管理者指定の取消しがあったため、評価は行わない。)	有限会社 E & K S 共和国	22. 4. 1～ 25. 1. 31							足尾総合支所 観光課
	6	赤倉集会所	赤倉自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31		○				全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に利用日数及び利用人数が目標値を達成していることや経費の低減が図れていることは評価できる。 【改善に向けた方策】 次年度も引き続き創意工夫を凝らしながら、施設の管理運営に努めていただきたい。 また、自治会への移譲も検討する。	足尾総合支所 総務課

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H24)
					A	B	C	D	E		
足 尾 地 域	7	南橋集会所	南橋自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31		○				全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に利用 日数及び利用人数が目標値を達成していることや経費の低減が図 れていることは評価できる。 【改善に向けた方策】 次年度も引き続き創意工夫を凝らしながら、施設の管理運営に努 めていただきたい。 また、自治会への移譲も検討する。	足尾総合支所 総務課
	8	上間藤集会所	上間藤自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に利用 日数及び利用人数が目標値を達成していることや経費の低減が図 れていることは評価できる。 【改善に向けた方策】 次年度も引き続き創意工夫を凝らしながら、施設の管理運営に努 めていただきたい。 また、自治会への移譲も検討する。	足尾総合支所 総務課
	9	上の平集会所	上の平自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に利用 日数及び利用人数が目標値を達成していることや利用者からの苦 情が無いことは評価できる。 【改善に向けた方策】 次年度は、更に経費の低減が図れるように創意工夫を凝らして、 施設の管理運営に努めていただきたい。 また、自治体への移譲も検討する。	足尾総合支所 総務課
	10	下間藤集会所	下間藤自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に経費 の低減が図られていることや利用者からの苦情が無いことは評価 できる。 【改善に向けた方策】 次年度は、利用の増加を目指して創意工夫を凝らし、施設の管理 運営に努めていただきたい。 また、自治会への移譲も検討する。	足尾総合支所 総務課
	11	田元集会所	田元自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に経費 の低減が図られていることや利用者からの苦情が無いことは評価 できる。 【改善に向けた方策】 次年度は、利用の増加を目指して創意工夫を凝らし、施設の管理 運営に努めていただきたい。 また、自治会への移譲も検討する。	足尾総合支所 総務課
	12	野路又集会所	野路又自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に経費 の低減が図られていることや利用者からの苦情が無いことは評価 できる。 【改善に向けた方策】 次年度は、利用の増加を目指して創意工夫を凝らし、施設の管理 運営に努めていただきたい。 また、自治会への移譲も検討する。	足尾総合支所 総務課
	13	掛水集会所	掛水自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31		○				全般にわたり、適正な管理運営が実施されていた。特に経費の低 減が図られていることや利用者からの苦情が無いことは評価でき る。 また、利用人数においても目標値を超えている。 【改善に向けた方策】 次年度は、更に利用の増加を目指して施設の管理運営に努めてい いただきたい。 また、自治会への移譲も検討する。	足尾総合支所 総務課

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H24)
					A	B	C	D	E		
足 尾 地 域	14	内の籠集会所	内の籠自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31		○				全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に経費の低減が図られていることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 【改善に向けた方策】 次年度は、利用の増加を目指して創意工夫を凝らし、施設の管理運営に努めていただきたい。 また、自治会への移譲も検討する。	足尾総合支所 総務課
	15	向原集会所	向原自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に経費の低減が図られていることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 【改善に向けた方策】 次年度は、利用の増加を目指して創意工夫を凝らし、施設の管理運営に努めていただきたい。 また、自治会への移譲も検討する。	足尾総合支所 総務課
	16	赤沢集会所	赤沢自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に利用日数及び利用人数が目標値を達成していることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 【改善に向けた方策】 次年度は、更に経費の低減が図れるように創意工夫を凝らして、施設の管理運営に努めていただきたい。 また、自治会への移譲も検討する。	足尾総合支所 総務課
	17	松原集会所	松原自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31		○				全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に利用日数及び利用人数が目標値を達成していることや経費の低減が図れていることは評価できる。 【改善に向けた方策】 次年度も引き続き創意工夫を凝らしながら、施設の管理運営に努めていただきたい。 また、自治会への移譲も検討する。	足尾総合支所 総務課
	18	通洞集会所	通洞自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に経費の低減が図られていることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 【改善に向けた方策】 次年度は、利用の増加を目指して創意工夫を凝らし、施設の管理運営に努めていただきたい。 また、自治会への移譲も検討する。	足尾総合支所 総務課
	19	砂畑集会所	砂畑自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に利用日数及び利用人数が目標値を達成していることや経費の低減が図れていることは評価できる。 【改善に向けた方策】 次年度も引き続き創意工夫を凝らしながら、施設の管理運営に努めていただきたい。 また、自治会への移譲も検討する。	足尾総合支所 総務課
	20	中才集会所	中才自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に利用日数及び利用人数が目標値を達成していることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 【改善に向けた方策】 次年度は、更に経費の低減が図れるように創意工夫を凝らして、施設の管理運営に努めていただきたい。 また、自治会への移譲も検討する。	足尾総合支所 総務課

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H24)
					A	B	C	D	E		
足 尾 地 域	21	原集会所	原自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に経費の低減が図られていることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 【改善に向けた方策】 次年度は、利用の増加を目指して創意工夫を凝らし、施設の管理運営に努めていただきたい。 また、自治会への移譲も検討する。	足尾総合支所 総務課
	22	唐風呂集会所	唐風呂自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に経費の低減が図られていることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 【改善に向けた方策】 次年度は、利用の増加を目指して創意工夫を凝らし、施設の管理運営に努めていただきたい。 また、自治会への移譲も検討する。	足尾総合支所 総務課
	23	餅ヶ瀬集会所	餅ヶ瀬自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に経費の低減が図られていることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 【改善に向けた方策】 次年度は、利用の増加を目指して創意工夫を凝らし、施設の管理運営に努めていただきたい。 また、自治会への移譲も検討する。	足尾総合支所 総務課
	24	足尾南部生活改善センター	中才自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に利用日数が目標値を達成していることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 【改善に向けた方策】 次年度は、利用人数の増加及び経費の低減が図れるように創意工夫を凝らして、施設の管理運営に努めていただきたい。 また、自治会への移譲も検討する。	足尾総合支所 総務課
	25	足尾東部生活改善センター	神子内自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に経費の低減が図られていることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 【改善に向けた方策】 次年度は、利用の増加を目指して創意工夫を凝らし、施設の管理運営に努めていただきたい。 また、自治会への移譲も検討する。	足尾総合支所 総務課
	26	切幹林業活動促進センター	切幹自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に経費の低減が図られていることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 【改善に向けた方策】 次年度は、利用の増加を目指して創意工夫を凝らし、施設の管理運営に努めていただきたい。 また、自治会への移譲も検討する。	足尾総合支所 総務課
	27	遠下林業活動促進センター	遠下自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に利用者からの苦情が無いことは評価できる。 【改善に向けた方策】 次年度は、利用の増加及び経費の低減が図れるように創意工夫を凝らして、施設の管理運営に努めていただきたい。 また、自治会への移譲も検討する。	足尾総合支所 総務課

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H24)
					A	B	C	D	E		
足尾地域	28	足尾環境学習センター	特定非営利活動法人 足尾に緑を育てる会	22. 4. 1～ 27. 3. 31				○		福島第1原発事故の風評被害により利用者が減少した。特に6月初旬から下旬の庚申草開花時期の利用者等の減少が見られた。 【改善に向けた方策】 原発事故の影響はH25年度も続くと思われるが、今後も経営の効率化推進をはかられたい	足尾総合支所 観光課
栗山地域	1	川俣温泉集会所	川俣温泉自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			概ね適正な管理運営が実施されていた。 【改善に向けた方策】 利用人数が少ないので、施設利用者を増加させるような方策を考えるなどの努力が必要である。 また、自治会への移譲も検討する。	栗山総合支所 総務課
	2	川俣集会所	川俣自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。 【改善に向けた方策】 自治会への移譲を検討する。	栗山総合支所 総務課
	3	野門集会所	野門自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			【改善に向けた方策】 利用日数及び利用人数が少ないので、施設利用を増加させるような方策を考えるなどの努力が必要である。また、冬季の水道の凍結防止対策が必要である。 また、自治会への移譲も検討する。	栗山総合支所 総務課
	4	若間集会所	若間自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。 【改善に向けた方策】 自治会への移譲を検討する。	栗山総合支所 総務課
	5	上栗山集会所	上栗山自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			概ね適正な管理運営が実施されていた。 【改善に向けた方策】 利用日数及び人数が少ないので、なお一層の努力が必要と考える。 また、自治会への移譲も検討する。	栗山総合支所 総務課
	6	黒部集会所	黒部自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			概ね適正な管理運営が実施されていた。 【改善に向けた方策】 利用日数及び人数が少ないので、なお一層の努力が必要と考える。 また、自治会への移譲も検討する。	栗山総合支所 総務課
	7	土呂部集会所	土呂部自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			概ね適正な管理運営が実施されていた。 【改善に向けた方策】 燃料費が増加しているので、なお一層のコスト削減を図られたい。 また、自治会への移譲も検討する。	栗山総合支所 総務課
	8	青柳平集会所	青柳平自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。 【改善に向けた方策】 自治会への移譲を検討する。	栗山総合支所 総務課
	9	日蔭集会所	日蔭自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			概ね適正な管理運営が実施されていた。 【改善に向けた方策】 利用日数及び利用人数が少ないので、施設利用を増加させるような方策を考えるなどの努力が必要である。 また、自治会への移譲も検討する。	栗山総合支所 総務課

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H24)
					A	B	C	D	E		
栗 山 地 域	10	日向集会所	野尻自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			概ね適正な管理運営が実施されていた。 【改善に向けた方策】 利用日数及び利用人数が少ないので、施設利用を増加させるような方策を考えるなどの努力が必要である。 また、自治会への移譲も検討する。	栗山総合支所 総務課
	11	大王集会所	大王自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			概ね適正な管理運営が実施されていた。 【改善に向けた方策】 利用日数及び利用人数が少ないので、施設利用を増加させるような方策を考えるなどの努力が必要である。 また、自治会への移譲も検討する。	栗山総合支所 総務課
	12	小穴集会所	野尻自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			概ね適正な管理運営が実施されていた。 【改善に向けた方策】 利用日数及び利用人数が少ないので、施設利用を増加させるような方策を考えるなどの努力が必要である。 また、自治会への移譲も検討する。	栗山総合支所 総務課
	13	戸中集会所	戸中自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			概ね適正な管理運営が実施されていた。 【改善に向けた方策】 利用日数及び利用人数が少ないので、施設利用を増加させるような方策を考えるなどの努力が必要である。 また、自治会への移譲も検討する。	栗山総合支所 総務課
	14	小指集会所	戸中自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			概ね適正な管理運営が実施されていた。 【改善ぬ向けた方策】 利用日数及び利用人数が少ないので、施設利用を増加させるような方策を考えるなどの努力が必要である。 また、自治会への移譲も検討する。	栗山総合支所 総務課
	15	西川集会所	西川自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			概ね適正な管理運営が実施されている。 【改善に向けた方策】 自治会への移譲を検討する。	栗山総合支所 総務課
	16	湯西川上集会所	湯西川上自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			概ね適正な管理運営が実施されていた。 【改善に向けた方策】 利用日数及び利用人数が少ないので、施設利用を増加させるような方策を考えるなどの努力が必要である。 また、自治会への移譲も検討する。	栗山総合支所 総務課
	17	12湯西川下地区集会所	湯西川下地区自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			概ね適正な管理運営が実施されている。 【改善に向けた方策】 自治会への移譲を検討する。	栗山総合支所 総務課
	18	土呂部キャンプ場	土呂部キャンプ場管理組合	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			【改善に向けた方策】 キャンプ場利用者が減少する中で、誘客方策や自主事業を検討する必要がある。	栗山総合支所 観光課
	19	上栗山オートキャンプ場	上栗山開運の里管理組合	23. 4. 1～ 28. 3. 31				○		【改善に向けた方策】 キャンプ場利用者が減少する中で、誘客方策や自主事業を検討する必要がある。	栗山総合支所 観光課
	20	平家の里	平家の里湯西川協同組合	18. 4. 1～ 28. 3. 31			○			概ね適正に運営がなされている。 【改善に向けた方策】 今後の誘客推進やコスト削減に取り組んでほしい。	栗山総合支所 観光課
	21	川俣湖温泉共同浴場「上人一休の湯」	川俣湖温泉ふれあいの里管理組合	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			【改善に向けた方策】 温泉利用者が減少する中で、誘客方策や自主事業を検討する必要がある。	栗山総合支所 観光課

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H24)
					A	B	C	D	E		
栗 山 地 域	22	野門温泉共同浴場「家康の湯」	平家高原家康の里開発組合	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			【改善に向けた方策】 温泉利用者が減少する中で、誘客方策や自主事業を検討する必要がある。	栗山総合支所 観光課
	23	上栗山温泉共同浴場「開運の湯」	上栗山開運の里管理組合	23. 4. 1～ 28. 3. 31				○		【改善に向けた方策】 温泉利用者が減少する中で、誘客方策や自主事業を検討する必要がある。	栗山総合支所 観光課
	24	湯の郷湯西川観光センター	株式会社 湯の郷	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			概ね適正に運営がなされている。 【改善に向けた方策】 今後の誘客推進やコスト削減に取り組んでほしい。	栗山総合支所 観光課
	25	自然体験交流センター 「安らぎの森 四季」	安ヶ森管理組合	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			【改善に向けた方策】 地域全体の観光入込みが減少しているが、地域の観光宿泊施設と連携し、更なる利用客数増を目指す必要がある。	栗山総合支所 産業建設課
	26	栗山デイサービスセンター	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会	22. 4. 1～ 25. 3. 31			○			(介護予防) 通所介護の拠点として平成22年4月の開所から3年が経過した。 【改善に向けた方策】 平成24年度は開所日の曜日を変更し利用者減となった要因を分析し、利用者のニーズを踏まえたサービスの提供を行っていくための必要な取組を確立する必要がある。 利用者ニーズを把握することは当然であるので、今年度は、繁忙期に書面での利用者アンケート調査を行い、利用者ニーズの情報を蓄積する必要がある。このことは、定量的な分析を行うことが可能となり、自分たちの提供しているサービスが利用者ニーズと乖離はないかの確認ができるので、サービスの適正性、改善につなげることができる。そのためには、一層、地域との接点を増やし、住み慣れた地区で生きがいを持ち安心して生活できるよう地域に根ざした生活支援体制を確立し、利用者の拡充に努めていく必要がある。	健康福祉部 介護保険課
		西川デイサービスセンター	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会	22. 4. 1～ 25. 3. 31			○			(介護予防) 通所介護の拠点として平成22年4月の開所から3年が経過し、利用者及び家族の希望を踏まえたサービスを提供していることから、地域での認知度が向上し、利用者が増加していることは評価できる。 【改善に向けた方策】 平成24年度より開所日数を5日に増加し、利用者は増加したが年平均の1日当り利用者数は減少していることから、送迎可能な区域の関係機関との連携を積極的に行う必要がある。 また、今年度も書面での利用者アンケート調査を繁忙期に行い、定量的な分析を積み重ね、自分たちの提供しているサービスが適切なものであったか否かの把握を行い、改善点を抽出し、サービスの改善につなげる必要がある。 今後は指定管理者の高齢者福祉事業のネットワーク、知識等を活用し、一層、地域との接点を増やし、住み慣れた地区で生きがいを持ち安心して生活できるよう地域に根ざした生活支援体制を確立し、利用者の拡充に努めていく必要がある。	
	27	湯西川水の郷	株式会社 湯西川水の郷	23. 7. 1～ 27. 3. 31				○		【改善に向けた方策】 観光客が減少する中で、誘客方策や自主事業を検討する必要がある。また、大型観光施設であるが、施設維持管理費の大幅なコスト削減に努める必要がある。	栗山総合支所 観光課